

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 5年 9月定例会	
議案番号 議案名	認定第1号 令和4年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について
議員名・会派名等	市民クラブ
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>まず、認定第1号令和4年度松戸市一般会計歳入歳出決算の総務費であります。</p> <p>IT活用推進事業、デジタル化推進事業、更にはAI議事録作成など市職員の業務効率化、市民の利便性向上が図られたことを評価いたします。</p> <p>政府が旗振り役となり、目標時期を2025年度とする自治体DXですが、主体的に、本市の実情に合わせてデジタルトランスフォーメーションを推進し、持続可能な地方社会の構築を目指して頂くとともに、業務効率化によって、より高い市民サービスにつながりますよう、引き続きよろしくお願いたします。</p> <p>続いてシティプロモーション推進事業についてですが、晴耕雨読が目玉の事業であったと思います。読者層が若者ということですが、その反面、スマートフォンやネットの普及によりネット媒体の需要も拡大しておりますので、是非そういった観点でもネット媒体などでのシティプロモーションも推進していただければと思います。</p> <p>公共施設再編整備推進事業については、公共施設延べ床面積の5割以上を占める教育施設の再編整備を始め、施設の有効活用や複合化・集約化の方針は変わらないということを確認いたしました。</p> <p>その上で今後、公共施設再編の大方針をどのように責任を持って進めていくのか。再三議会から指摘をしている縦割り行政の中での責任を担うセクションを構築すべきであるということ、改めて指摘をさせていただき、いま一步踏み込んだ検討に期待をし、要望いたします。</p> <p>続いて民生費であります。</p>

民生費においては予算規模が毎年増加する状況化、子育て施策、高齢者支援策・障害者施策等、引き続き、それぞれの分野において、その業務に誇りを持ちつつも、財政面も留意しつつ丁寧な施策の推進をお願いいたします。

子育て支援策につきましては、先駆的な子育て支援策を展開する本市保育士の確保のための各種施策の取り組みに加え、幼稚園に対する支援も充実し、実効性のある子育て支援策を実施していることを大いに評価いたします。

子ども家庭庁も発足し、今後基礎自治体が国の政策の受け皿とならざるを得ない状況化、一度立ち止まり、業務の棚卸をと、お願いいたします。そしてそのことによって、さらなる市民福祉の向上が図られることを心に留め置いていただき、引き続きの子育て行政の推進をお願いいたします。

地域型保育関係事業では、令和4年度は子ども総合計画中間年の見直しが図られました。

計画と実態の乖離を把握し、各関連施設の適正規模を見きわめた上で、整備数を修正したことは大変素晴らしいと評価をいたします。加えて、引き続き保育の質を担保して行くことは重要でありますので、すでに取り組んでいただいておりますが、この保育の質に関しては、今後も引き続きご尽力いただきたいと思います。

グリーンスローモビリティ地域推進事業につきましては、市としての取り組みを大変評価をしております。コミュニケーションの活性化や住民の介護予防、カーボンニュートラル等への効果につなげ、松戸市をグリス口の聖地にすべく、今後交通政策課との連携も視野に行政としての力強い支援をお願いいたします。

次に衛生費であります。

思えば令和4年度はコロナウイルス感染症の脅威と全力で対峙していた年度であり、市民の皆様の健康を守るため、新型コロナウイルスワクチン接種業務を始め、さまざまな事業が実施されてまいりました。

感染状況に応じ機動的に制度の見直しを行いながら、時には国・県に先行し、また国・県の制度の行き届かないところに手が届くよう臨機応変に対応いただいたことについて、大いに評価をします。二度と起きてほしくはありませんが、グローバル社会の中、今後もい

つこのようなパンデミックが起きるともわかりませんので、今回の経験を活かせるような感染症対策のみならず、様々な緊急事態への対策を引き続きお願いいたします。

更には、市民の健康と安心を守るため、創意工夫の上で様々な事業を引き続き展開いただきますようお願いいたします。

次に労働費・商工費ならびに農林水産業費であります。

企業誘致事業産業用地創出に係る事業可能性調査委託料では、近年、本市には産業誘致する用地自体がないとの議論が続いていましたが、外環道、北千葉道路、都市計画道路337号と結節する高塚新田地区への産業誘致の検討・その課題の抽出が行われたようであります。

地域資源をいかしつつ、地域の新たな価値を生み出し、何より雇用を生み出すためにはどのような産業創出がのぞましいのか。

都市計画マスタープラン市街化調整版を現在策定中ですので北千葉道路の進捗に合わせて事業の推進をお願いするものであります。

さて、労働費・商工費ならびに農林水産業費は総務費、民生費に比べると予算規模的には見劣りがするかもしれませんが、総務費も民生費もその原資は市民の経済活動による税金によって成り立っております。

いわずもがな、雇用や新たな価値を生み出し、税収が生み出されなければこれらの事業は成り立ちません。

そういった意味で、令和4年度は若者就労支援業務・農業経営支援業務・中小企業相談室業務まつどビジネスサポートセンター・インキュベーション施設運営業務等、新規事業も含め様々な施策が展開されてきました。審査の中では、成果が出たものや課題の残ったものなど様々共有いただきました。それらを踏まえ、今後も修正と工夫を重ね、多岐にわたる支援策を有機的に組み合わせ、引き続き本市の中小企業の活性化・農業振興の促進を図っていただくことを要望いたします。大いに期待をしております。

次に土木費であります。

道路整備では、市内一円、道路補修工事を始め、道路網の骨格を形成する都市計画道路3・3・7号線など整備が進められており、引き続き計画的な道路整備をお願いいたします。

また、交通ビックデータを活用した業務委託については現段階までに渋滞箇所として63か所、危険箇所として45か所の抽出がなされたということで、今後抽出した渋滞箇所及び、危険箇所の精査を行い、具体的な対策をと要望いたします。

少し前の話になりますが、「コンクリートから人へ」という価値観が世に蔓延した時代がありました。しかし、我々会派としては全く意を異（こと）にし、社会インフラの整備は非常に重要であると考えます。

街の発展のためにはインフラは重要であり、投資を行うべきであります。その投資したお金が誰かの所得となり、その所得が消費を生み、経済が循環します。

結果として、市民が今後何十年恩恵を受けるであろう資産を作ることができます。

そういった意味で、新松戸駅東側地区土地区画整理事業や北小金駅南口東地区市街地再開発事業の推進は、本市の将来に資する重要な事業だと認識しております。

民間活力の活用など、財源の捻出に工夫を重ね、さらには、その事業規模も大きいことから、健全な財政運営に十分配慮した事業実施を要望いたします。

次に、消防費であります。

令和4年度は未だコロナが蔓延しておりました。コロナ禍において感染リスクを負いながら救急搬送業務に従事されていた消防職員の皆様の御尽力に対して、心からの敬意と感謝を申し上げます。

また、消防団の無線技士の資格取得支援や処遇改善により、体制の強化が図られ、一定の効果が見られたようです。

先日地域防災を支える消防団員が76万2670人と過去最少を更新したとの報道がありました。大規模災害時のことを考えれば、地域防災の担い手である消防団員の拡充は喫緊の課題と考えます。質疑の中でも言及しましたが、条件付きでの普通免許証取得などさらなる資格取得支援の拡充による、消防団員の加入促進を要望いたします。

次に教育費であります。

次世代を担う子どもたちの教育の重要性につきましては、言うに

及びません。

その上で、教員不足が様々議論される昨今、松戸市独自の事業である臨時的任用講師人材育成研修の実施は大変素晴らしい事業であると評価をいたします。

更には音楽鑑賞教室や、夢の教室など、様々な体験機会の提供は子どもたちの新たな未来を開く貴重な機会になっていると思います。

教育課題が複雑化する今、何が正しく、何が間違っているかわからない「ブーカ」の時代であるからこそ ICT 活用を含め、考え、行動し、よりよい教育環境の実現をと要望いたします。

また、各施策においては、子どもたちの健全な成長のために、各家庭の経済的な事情に配慮した国の支援策をしっかりと見きわめた上で、機動的な対応をと要望いたします。

次にこれらの事業を実施するための財源となる歳入についてであります。

市税収入は前年度比約 19 億円増の 718 億円となり、冒頭述べた通り過去最大となりました。こういった税収増をどのように市民に還元し、本市の活力を生み出していくのか。インフレ下における行財政運営の視点を持ちつつも、引き続き市税収入等の確保に努めていただくようお願いを申し上げます。

また、令和 4 年度決算を鑑み、健全財政の実現という意味で、財政調整基金の取り崩し及び市債の発行につきましては、今後の推移を的確に把握し、慎重に行っていただきたいと思えます。

以上のことから、本定例会に提案され、決算審査特別委員会に付託をうけた、認定第 1 号令和 4 年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について賛成を致します。